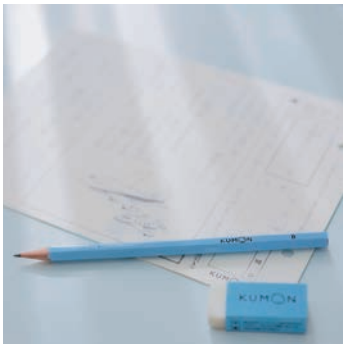


KUMON

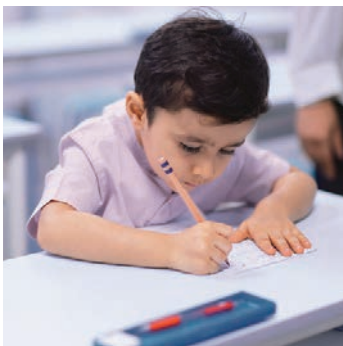
会 社 案 内

教育が、世界を変える。
KUMONは、
そう信じています。



学びたい気持ちは、
世界共通。

国境も文化も越えて受け入れられているKUMON。それは、個人別の学習法だから。
学びたい、という気持ちに、もっと応えたい。
いま、KUMONは60を超える国と地域に広がっています。



学ぶ喜びを、
すべての人へ。

学びを通じて、自らの可能性を広げる喜び。それは、子どもだけのものではありません。
0歳～2歳の親子のためのBaby Kumonから高齢者の学びを応援する学習療法まで。
KUMONは世代を超えて学びを育んでいます。



自ら学ぶ力は、
生きる力になる。

一人ひとりが持つ可能性を最大限に伸ばすこと。
それが、KUMONの使命です。
課題に立ち向かい、自分の力で解決する経験は、今後の人生の宝物になるはずです。



CONTENTS

Concept	KUMONの原点	2
	KUMONの育む力	4
	KUMONの特長〈ちょうどの学習〉	6
	KUMONの特長〈スモール・ステップ〉	8
	KUMONの特長〈指導者の存在〉	10
	KUMONのあゆみ	12
	KUMONの世界への広がり	14
	KUMONの世代の広がり	16
	KUMONの活動の広がり	18
	沿革	20
Overview	トップメッセージ	21
	2026-2030 KUMONグループ中期経営方針	22
	会社概要	24



「学ぶ力」は、やがて、「生きる力」へ。 一組の親子の絆から生まれた、KUMON。

ひとりの父親の、わが子への愛情からはじまった公文式教育法。

半世紀以上が経ったいまも、その思想は脈々と受け継がれ、

多くの子どもたちの「学ぶ力」を育み続けています。

大切なのは、子どもの主体性を引き出す指導

きっかけは、一人の少年の算数の答案用紙でした。小学2年生の毅(たけし)少年のポケットから出てきた答案用紙を見た母親が、当時高校の数学教師をしていた夫、公文公(くもん とおる)に相談したのです。公文公はかねてから「子どもには大人が想像する以上の潜在的能力がある。子どもの可能性をできる限り引き出すことこそが教育者の務めである」と考えていました。そのためには何よりも、子どもの主体性を引き出すことが大切であると感じていたのです。

そこで、わが子のために教材をつくるときも、本人が毎日無理なく続けることができ、かつ着実にレベルアップできるよう工夫に工夫を重ねました。高校で教鞭をとっていた公文公は、計算力がないために多くの高校生が数学の勉強で苦しんでいることを知っていたので、目標を計算力の養成に絞り込み、自学自習形式で学べる教材をつくりました。人から教わるのではなく、自分の力で解き進むことによってこそ本物の学力が身につくことを、自らの教育体験によって実感していたからです。

自己肯定感が「学ぶ力」を育てる

ルーズリーフに書かれた、手づくりの計算問題。それが今日の公文式教材の原型です。毅少年は、父親の考案した教材による毎日30分の自習でみるみる力をつけ、小学6年生の頃には微分・積分を学習できるまでにいたりしました。そこで、今度は近所の子どもたちを自宅に集め同じような方法で指導したところ、どの子の学力も目に見えて上がりはじめたのです。「この方法で、一人でも多くの子どもたちの可能性を伸ばしてあげたい」。1958年、公文公は大阪に事務局を開設し、

もっと多くの算数教室を開くことを決意しました。「自学自習で高校教材」を目標に掲げ、学年を越えたところを自習させることによって、一人ひとりの能力を伸ばす。公文式教育法の本格的な普及のはじまりでした。

子どもは本来、自分から伸びようとする力を秘めています。読み・書き・計算に取り組む過程で「やればできる」という自己肯定感を育み、「自ら学ぶ力」を育てていく。子どもたちが将来自己実現を成しとげ、どんな時代でも夢や目標に向かってチャレンジしていける力、すなわち「生きる力」を育てること。それがKUMONが考える教育です。父親のわが子への愛情から生まれたKUMONは、人から人へ、街から街へと広がり、今では言葉や文化・歴史の壁を越え、世界の国々に広がり続けています。



草創期の教室風景



公文 公(1914―1995)

1914年 高知県に生まれる。大阪帝国大学理学部数学科卒業後、高知県立海南中学校教諭として赴任。
1955年 大阪府守口市で公文式教材を使った初めての算数教室を開設。
1968年 33年間の教職生活にピリオドを打ち、大阪数学研究会の業務に専念。
1970年 有限会社大阪数学研究会代表取締役会長に就任。
1983年 株式会社公文教育研究会代表取締役会長に就任。
主な著書:『公文式算数の秘密』(廣済堂出版)、『やってみよう』(くもん出版)、『悪いのは子どもではない』(くもん出版)など多数。

公文 毅(1946―1997)

1946年 奈良県に生まれる。
1972年 神戸大学経済学部卒業後、野村證券株式会社勤務を経て、有限会社公文数学研究会入社。
1974年 同研究会・福岡事務局初代事務局長に就任。
1978年 有限会社公文数学研究会代表取締役社長に就任。
1983年 株式会社公文教育研究会代表取締役社長に就任。
主な著書:対話集『どんな人間がこの時代を生きぬくか』(河出書房新社)。

1954年 公文公が息子のために手づくりした教材。公文式教材の原型。

子どもたちに「生きる力」を。

学びの根幹となる基礎学力を育てます。

試験や受験のためのテクニックではなく、
将来にわたって通用する「生きる力」を育むために。
KUMONは、普遍的な基礎学力の養成に力を入れています。

社会で求められる「問題解決力」を育てる。

数学は基礎となる力を確実に身につけることで、さらに上のレベルの課題を自分の力で学ぶことができる教科です。KUMONでは、工夫して作られた教材と指導法で子どもたちが未知の学習課題まで学ぶことを通して、自習する経験を積みせ、その方法を学ばせます。その結果、社会に出て直面するさまざまな問題を自分で解決する力を育みます。

【算数・数学教材の特長】

公文式算数・数学教材の目標は、高校数学の学習を容易にすること。教材は高校課程→中学校課程→小学校課程というように“下降方式”で内容を精選し、それぞれの段階の学力をしっかり定着させながら着実にステップアップできるよう、全25教材計5,000枚で構成されています。大きな特長は、代数計算が中心となっていること。微分・積分などの高度な問題も自分の力でスムーズに学習できるよう、長年にわたって培ってきた学習情報をもとに、さまざまな工夫を重ね続けています。



L 142a

KUMON

§15. 面積の1（33点引き）

区間 $[a, b]$ で、 $y = f(x)$ と x 軸、 $y = -f(x)$ と x 軸で囲まれた図形の面積は、 x 軸に関して対称だから等しい。したがって、 $f(x) \leq 0$ のときの面積 S は次の式で求められる。

$$S = - \int_a^b f(x) dx$$

1. 次の曲線と x 軸とで囲まれた部分の面積 S を求めよ。

例

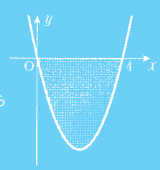
$y = x^2 - 4x$
[解] $y = x^2 - 4x = x(x - 4) = 0$ より
 $x = 0, 4$
よって

$$S = - \int_0^4 (x^2 - 4x) dx$$

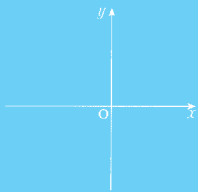
$$= - \left[\frac{1}{3} x^3 - 2x^2 \right]_0^4$$

$$= - \left(\frac{64}{3} - 32 \right) = \frac{32}{3}$$

区間 $[0, 4]$ では、 x 軸の下にあるからマイナスをつける



(1) $y = x^2 + x - 2$



算数・数学

1954年～

国語

1981年～

訂正用

大変やせて小屋を出て、みんなに鎖と

50

① 丸太をへし折つてもらつた白象は、それからどうしたのか、四〇一五〇字めなさい。「寂しく」という言葉を用いて、文末を「……言つた。」とする

大変やせて小屋を出て、みんなに鎖と

50

おや、川へはいつちやいけなかつたら。

（丁）

そのうち、象の片足が、髯からこつちへはみ出した。それからも一つはみ出した。五匹の象がいつべんに、髯からどつと落ちてきた。オツベルはケースを振つたまま、もうぐしゃぐしゃにつぶれていた。早くも門が開いていて、グララアガア、グララアガア、象がどしどしなだれ込む。「平はどこだ」みんなは小屋に押し寄せる。丸太なんぞは、マッチのようへし折られ、あの白象は大変やせて小屋を出た。

「まあ、よかつたね、やせたねえ。」みんなは静かにそばに寄り、鎖と分銅をはずしてやつた。

「ああ、ありがとう。ほんとにはくは助かつたよ。」白象は寂しく笑つてそう言つた。

GII 130-b

■ 文章をよく読み、問題に答えなさい。

（10点引き）

豊かな人間性の基盤となる「読解力」を養う。

国語は、すべての学力の基本となる教科です。その礎となるのは豊かな読書体験。KUMONは、四半世紀にわたり子どもたちの読書活動に力を入れてきました。幅広い読書体験を通して知識や知恵を身につけ、より深く感じ、考える力を養います。

【国語教材の特長】

公文式国語教材の目標は、高度な読書能力を養成すること。教材は身近なことばの獲得から、古今東西の名著の研究考察的読解まで全34教材・計6,800枚で構成。読書への発展を意図して、教材にはさまざまなジャンルの文章を取り入れています。また一人ひとりの子どもの読書力にあった良書を選ぶための指標として、人気が高く内容的にも優れた本を読みやすさの順に配列した「くもんのすいせん図書」（全650冊）を選定。教室では、子どもたちが楽しく本に触れあえるよう、くもんのすいせん図書を中心とする「くもん文庫」を設置しています。

世界につながる「英文読解力」を伸ばす。

インターネットの普及により、英語は情報収集の手段としてもますます必要不可欠なものになっています。KUMONでは、挨拶程度の会話力にとどまらず、専用リスニング機器をフル活用してリスニング力を高めながら、英文を正確に読み取る力を伸ばしていきます。

【英語教材の特長】

公文式英語教材の目標は、高度な英文を自在に読みこなす読解力を養成すること。全10冊の冊子教材と、計4,000枚のプリントから構成されています。身近な言葉や簡単な表現をリズムよくくり返すところからはじめるので、初めて英語に触れる子どもたちも楽しく英語の世界を広げていきます。さらに楽しいストーリーやナチュラルな場面展開の中で生きた言葉としての英文を聞き、復唱し、書いて音読することで語彙力・構文把握力・リスニング力などを自然に身につけていきます。これらの力をもとに、優れた文学・評論・演説などの英文読解に進んでいくのです。

L II 31a

KUMON

Date: 月 日

Time: 時 分～ 時 分

§3. Our March to Freedom
— STORY 3 —

LISTENING 339 英文を聞きなさい。CD1—37・38
☐ に聞いた回数を書きなさい。

英語

1980年～

comrade [kɒmrad] 「同志、同胞」 fellow 「(形容詞的に)仲間(の)、男」

in the name of ～ 「～の名において」 democracy 「民主主義」

prophet [ˈprɒfət] 「予言者」 humble [ˈhʌmbəl] 「謙しい」 servant 「僕、奉仕者」

tireless [ˈtaɪələs] 「たゆみない、疲れを知らない」 heroic [həˈroʊk] 「英雄的な」

sacrifice [ˈsækrɪfaɪs] 「犠牲」

友よ、同志よ、そして仲間である南アフリカ人民の皆さん、私は(すべての人にとっての)平和、民主主義、そして自由の名においてあなた方すべてにご挨拶申し上げます。私は予言者としてではなく、あなた方人民の頼ましい僕としてあなた方の前にこうして立っています。あなた方のたゆみない英雄的な犠牲が今日、私がここにいることを可能にしたのです。



I therefore place the remaining years of my life in your hands. On this day of my release, I extend my sincere gratitude to the millions here and around the world who have campaigned tirelessly for my release.

4

5

一人ひとりの可能性を、最大限に伸ばす。
公文式は、年齢や学年の枠にとられません。

子どもたちの「やればできる」という自己肯定感を育み、
未知の領域にも、自分から挑戦する力を培いたい。
公文式は、一人ひとりの「可能性の追求」を目指す教育です。



年齢や学年に合わせるのではなく、「子ども」に合わせた学習を。
「個人別・学力別学習」

公文式の教室には黒板がありません。同じ教室でも、たし算を学ぶ小学2年生もいれば、分数を学ぶ小学2年生もいる。公文式では、年齢別の一斉授業による同一カリキュラムでは飽き足らない子ども、学校の授業が難しいと感じている子ども、自分の能力を最大限に伸ばしていけるよう、一人ひとりの学習の

習熟度に応じた「ちやうどの学習」を追求しています。公文式で学ぶ子どもたちは、その子がらくに解けるところから学習を始め、常に自分の力にあった教材を自分のペースで解き進めることで、学ぶ楽しさやできる喜びを育みながら学力を高めます。



自ら進んで学ぶ力は、夢や目標を実現する力へ。
「自学自習で進む」

受け身ではなく、自分の力で課題に取り組んでこそ学習意欲が芽生え、さらに先に進もうとする向上心が生まれる。公文式は「自ら学ぶ力」を大切にしています。新しい課題の導入部には必要な解説や例題を設けるなど、自分の力で上の段階へスムーズに進んでいけるための工夫もそのひとつ。

「ちやうど」の教材を一気に解くことで集中力をつけ、つまづいたところや時間がかかりすぎたところは、十分な練習をする。解き方や答えを教え込まれるのではなく、答えを自分で導き出していく力は、やがて夢や目標を実現する力になっていきます。



一步一步、確実にステップアップ。
一人ひとりの「成長の過程」を大切にしたい。

公文式の教材は、子どもの「学ぶ力」を引き出すために、
誰もが自分の力で進めていけるようにきめ細かいステップで構成。
一人ひとりが自然に伸びていける「学び」があります。

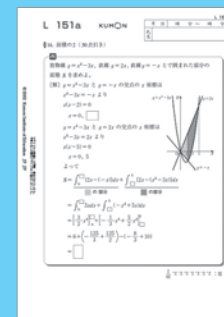
小さな進歩が、大きな成果へ。
無理せず、自分の力で進めていける教材を。

「スモール・ステップの教材」

公文式のすべての教材は、やさしい問題から高度な問題へ、非常にきめ細かい「スモール・ステップ」で構成されています。そのため、常に一人ひとりに合った「ちょうどの学習」を通じ、自分自身の力で少しずつ着実にステップアップしていくことができるのです。多くの子どもにとって難しい箇所があれば、生徒の学習情報の分析や指導者からの報告をもとに、内容を随時検討して教材そのものを改善していきます。公文式の教材を進化させているのは、ほかならぬその教材を学習している子どもたち自身なのです。



- 6A 10までのすうじの読み
(2024年10月現在)
- 5A 50までのすうじの読み
- 4A すうじの練習、50までのすうじの書き
- 3A 120までのすうじの書き、たし算の導入
- 2A たし算の基礎
- A たし算、ひき算
- B たし算、ひき算(筆算)
- C 九九、基本的なかけ算・わり算



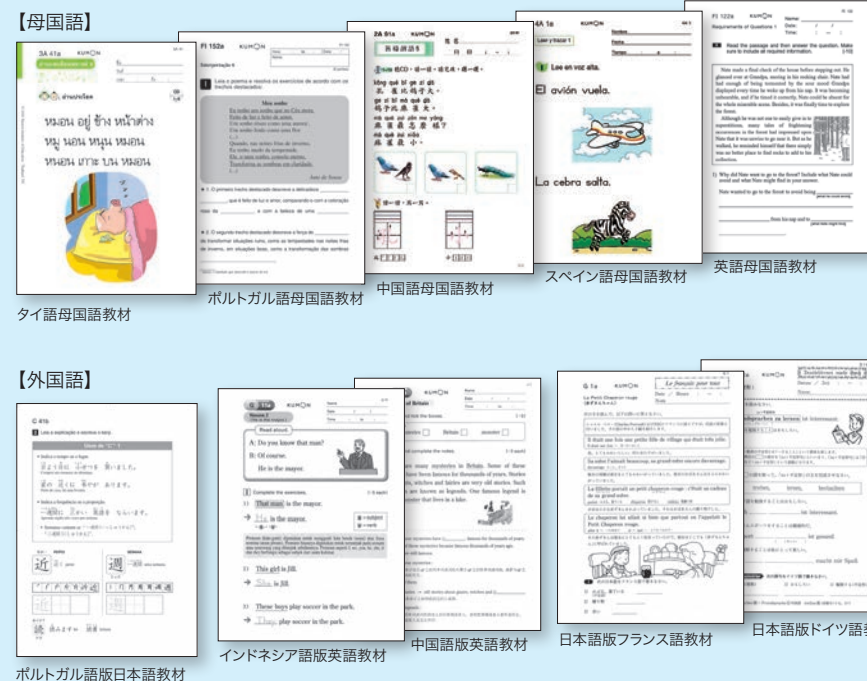
- D かけ算、わり算、分数、約分
- E 分数(加減乗除)
- F 分数(四則混合)、文章題、小数
- G 正負の分数計算、文字式の計算、1次方程式
- H 連立方程式、単項式・多項式、因数分解
- I 平方根、2次方程式、不等式、1次関数、2次関数、三平方の定理
- J 因数分解、無理数、2次方程式、因数定理、等式・不等式の証明
- K 2次関数、高次関数、分数関数、無理関数、指数関数
- L 対数関数、微分、積分
- M 図形と方程式、三角比、三角関数
- N 数列、極限、微分
- O 微分、積分、微分方程式
- XP 場合の数と確率、データの分析、統計的な推測
- XQ ベクトル、複素数平面、式と曲線、行列、1次変換
- XR ベクトル空間、行列、行列式
- XS 集合、数列と級数、1変数関数の微分・積分
- XT 多変数関数を含む微分・積分、微分方程式、ルベグ積分

※XP～XT教材：最終教材(0教材)を修了した生徒向けの教材群(コンプリーターズコース)



国や言語が変わっても、 教材はスモール・ステップ。

現在世界各地で使用されているKUMONの教材。母国語教材として、英語やスペイン語、ポルトガル語、中国語なども学習されています。また、さまざまな言語の方が学ぶことのできる外国語教材もございます。もちろん、そのすべてが、スモール・ステップの教材。あらゆる国の子どもたちが、無理なくスムーズに学習を進めていけるような構成です。さらに、教室現場からのフィードバックにより、子どもたちがもっと学習しやすい教材へと、日々、進化を続けています。



特長 指導者の存在

一人ひとりの可能性を引き出すために。
KUMONは、子どもたちから学ぶ集団です。

教えるのではなく、「自分でできた」に導く。
KUMONの指導者は、子どもの「できること」を見つけ、可能性を追求するプロフェッショナルです。

子どもが、自分の力で伸びていくために。 「指導者の役割」

公文式教室の指導者は、問題の答えや解き方をすぐに教えることはありません。問題を解くのは、子ども自身の力。「その子のできること」を見つけて、潜んでいる可能性を引き出す存在。それが公文式の指導者です。子どもたち一人ひとりとしっかりと向き合い、その子の学力や個性・気持ちをきちんと把握したうえで、「ちょうどの学習」ができるようサポートすること。ほかの誰かと比較するのではなく、その子自身の成長を認め、ほめ、励ましていくこと。さらには保護者の方の相談に乗り、一緒になって子どもを見守っていくこと。子どもたちの成長を心から願う多くの指導者の存在があるからこそ、公文式は効果を発揮することができるのです。



子どもを観察し、「自分でできた!」に導く

学習中の子どもの様子を観察し、必要に応じてヒントやアドバイスを与えます。また、教材を解き終わった子どもたちの答案を採点します。間違いは、すぐに解き方や答えを教えるのではなく、ヒントを与えて、間違えた箇所や理由を、その子ども自身が発見できるように促します。

学習の進め方を検討する

学習者の学習状況を成績表に記録し、その子どもが次にどう進んでいくべきか検討します。入会時に立てた学習の見通しについても、定期的に点検を行い、必要に応じて修正したり、指導のしかたを工夫します。



出発点を定め、見通しを立てる

入会時に行う学力診断テストの結果を参考に、その子が学習する「楽しさ」を実感できるよう、確実に100点を取れる段階の教材を学習の出発点に定めます。そしてその出発点から、いつまでに、どこまで伸ばすか、一人ひとりに適切な見通しを立てるところからスタートします。

自分の力で進める教材を判断する

成績表の記録や解答済みの教材、学習中の観察をもとに、その子が自分の力で進んでいけると判断した教材を用意します。新しいステップの教材に進んだ子や最近学習ペースが落ちている子などには、学習前に声をかけて、その日の学習のしかたや課題についてアドバイスします。



認め、ほめ、励ます

学習終了後は、その日の学習結果を確認して、ほめたり、励ましたり、学習意欲を高めるように子どもとコミュニケーションをとります。そして、家庭で学習する教材を渡し、家庭での学習についてアドバイスします。



保護者とともに子どもを伸ばす

指導者は、保護者との日常のコミュニケーションや個別面談で、家庭学習の様子や課題を知り、また学習状況だけでなく将来にわたっての学習計画をわかりやすく伝えることで、保護者と一緒にその子どもの可能性を広げ、能力を伸ばしていきます。

よりよい指導法を追求し、 研鑽に励むKUMONの指導者

指導者は子どもたち一人ひとりの可能性を引き出すため、日々、研鑽に励んでいます。また、指導者が互いに学び合う研究大会が、地域・国単位のみならず世界規模でも行われています。このような学びを通してKUMONの教材や指導法は深化し続けているのです。



時を越えて。国境を越えて。 すべては、一人ひとりのために。

「学び」を通じて一人ひとりの可能性を引き出したい。
小さな算数教室から生まれたKUMONの想いは、
世界中の国々で大きく花開いています。

1950

1955年

大阪府守口市に、公文式教材を
使用した算数教室を開設

1958年

大阪数学研究会創立

1960

1969年
国内学習者数
1万を超える

1970

1974年

『公文式算数の秘密』（廣済堂出版刊）が
ベストセラーに

公文式が一躍世間に広がったのは、創始者・公文公（くもん とおる）が最初に著した一冊の本がきっかけでした。数十万人の具体的な指導実例と学習効果とともに、公文式学習法の真意や理論を初めて公的に紹介したことが大きな反響を呼び、問い合わせが殺到しました。



1974年

海外（ニューヨーク）で初めて算数教室を開設

海外での公文式は、1974年にニューヨークでの算数・数学教室からはじまりました。当初生徒の大半は日本人の子どもたちでしたが、公文式の効果が現れるにつれ現地の子どもたちにも広がっていきました。現在では、現地の指導者による現地の子どもたちのための教育として定着しています。

1975年

台湾に教室開設

1977年
国内学習者数
20万を超える

1979年
国内学習者数
50万を超える

1980

1980年
英語教室スタート

1980年
ドイツ デュッセルドルフに現地法人設立

1980年
ブラジル サンパウロに現地法人設立

1981年
国語教室スタート

1982年
アメリカ ロサンゼルスに現地法人設立

1984年
日本語教室スタート

1984年
オーストラリア シドニーに現地法人設立

1988年
香港に現地法人設立

1988年
サミトンの奇跡

テレビのニュースで公文式を知ったアメリカ合衆国アラバマ州サミトン校から「ぜひ授業に取り入れたい」との申し入れがあり、同校の正課の授業に公文式が導入されました。それにより、KUMONの学力診断テストの平均点が20点以上上昇する、というめざましい効果を発揮。「サミトンの奇跡」として全米の有力メディアから大々的に報道され、大きな反響が巻き起こりました。

1983年
海外学習者数
1万を超える

1989年
国内学習者数
150万を超える

1985年
ペン習字教室スタート

1986年
フランス語教室・
ドイツ語教室スタート

1993年
全世界の学習者数
200万を超える

1991年
海外学習者数
20万を超える

1990

1995年
海外学習者数
50万を超える

1998年
海外学習者数
100万を超える

2000

2000年
グループ経営体制へ移行

2001年
学習療法の実践研究スタート

2001年
新KUMONロゴ誕生

KUMON

2004年
インド ニューデリーに
現地法人設立

2008年
KUMON
創立50周年



2012年
Baby Kumon スタート

Bgbq Kumon



2014年
公文 公生誕100年記念式典

2018年
KUMON 創立60周年



2023年
パキスタン ラホールに
現地法人設立
KUMONの脳トレ スタート

KUMONの脳トレ

2006年
全世界の学習者数
400万を超える

2003年
海外学習者数
200万を超える

2010

世界への広がり

KUMONは、世界の共通語。
60を超える国と地域に、「学び」を届けています。

親が子どもを想う気持ちは、万国共通。
一組の親子からはじまった公文式だからこそ、
国境を越えて受け入れられています。

個人別・学力別学習だからこそ、
世界で受け入れられる。

「教育は個人別・能力別に行われるべきである」という公文公の信念から生まれた公文式学習。そうして半世紀以上、経験や知恵を積み重ねてきたKUMONの個人別・学力別学習に国境はありません。「学びの根幹となる基礎学力を育てること」を目的とし、その学習効果が認知されてきたことで、文化や価値観、教育システムが異なる国や地域でも受け入れられています。

公文式学習法のメソッドは、
世界共通。

KUMONが世界に広がったもう一つの理由は、その独自のメソッドにあります。子どもの能力に合わせて確実なステップアップを図るスモール・ステップの教材は、世界共通です。紙と鉛筆さえあればどんな国でもできる、普遍的な教育法だからこそ、たとえ国が変わっても、変わることのない高い学習効果を発揮できるのです。

ヨーロッパ

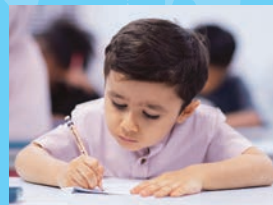
18カ国

アイルランド・アンドラ・イギリス・イタリア・オーストリア
オランダ・ギリシャ・スイス・スペイン・ドイツ・ハンガリー
フランス・ブルガリア・ベルギー・ポーランド・ポルトガル
ルーマニア・ルクセンブルク

中東

3カ国

カタール・バーレーン・U.A.E.



アフリカ

5カ国

ケニア・ザンビア・ナミビア・ボツワナ・南アフリカ

アジア

20カ国・地域

インド・インドネシア・韓国・カンボジア・シンガポール
スリランカ・タイ・中国・日本・ネパール・パキスタン
バングラデシュ・フィリピン・ブルネイ・ベトナム
マレーシア・ミャンマー・台湾・香港・マカオ



オセアニア

2カ国

オーストラリア・ニュージーランド



北米

6カ国

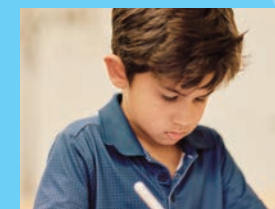
アメリカ・カナダ・グアテマラ・コスタリカ・パナマ
メキシコ



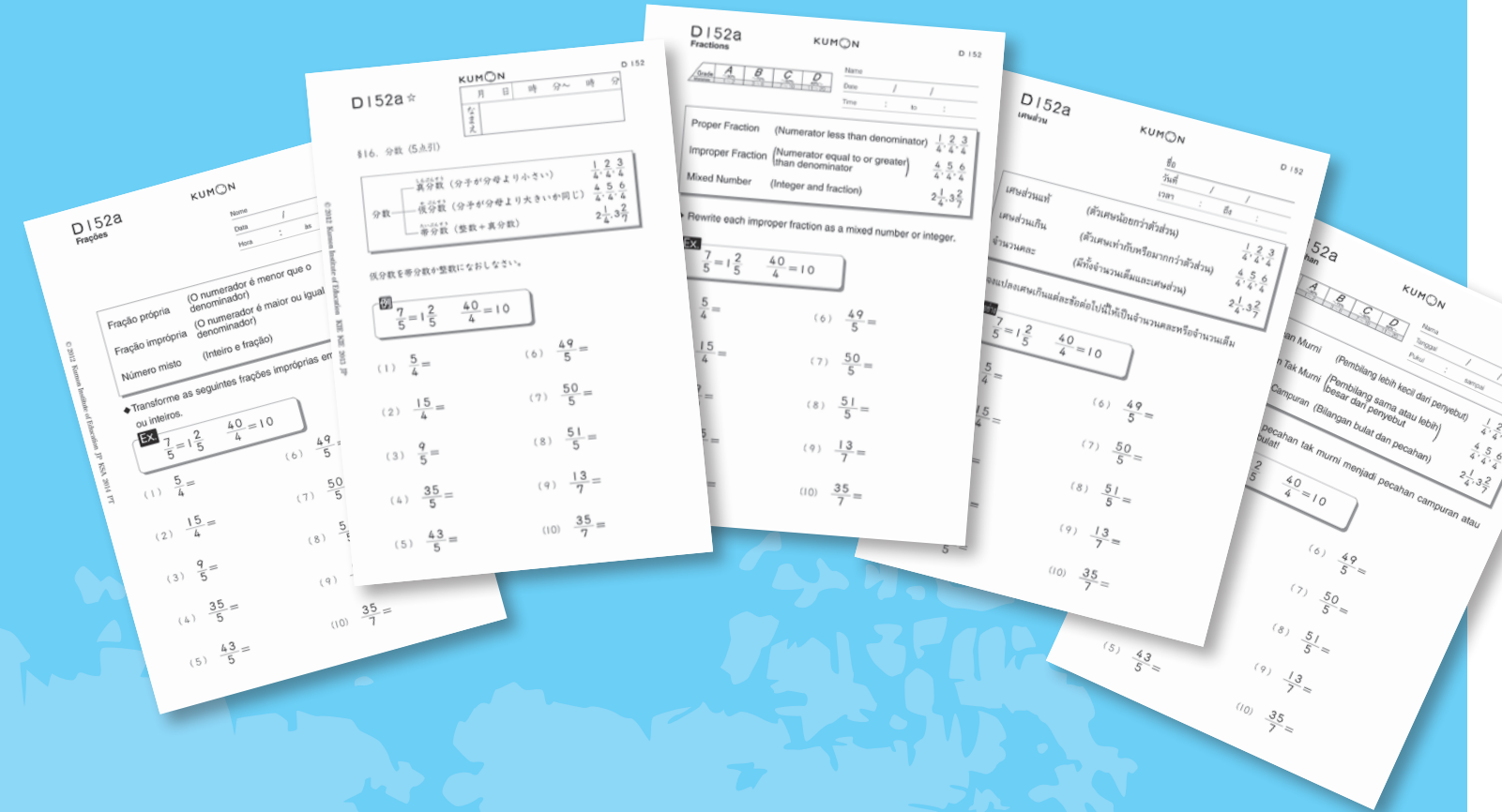
南米

7カ国

アルゼンチン・ウルグアイ・コロンビア・チリ
ブラジル・ペルー・ボリビア



(2026年3月現在)



子どもから、高齢者まで。 生涯を通じて、学ぶ喜びを届けたい。

学びを通じて能力を伸ばす喜びは、子どもだけのものではありません。
KUMONは、自らの可能性を広げ、豊かな人生を願うすべての人のために、
学びを軸とした地域コミュニティを創造し、地域社会に貢献します。

乳幼児



大切な親子のきずなを、
「ことば」の力で育みたい。

Baby Kumon

0~2歳の親子のためのBaby Kumon。「親子のきずなを育み、
伸びる子どもの土台をつくる」をコンセプトに、歌や読み聞かせ
を中心とした「ことばのやりとり」を楽しめるようサポートします。

多様な学力に対応できる
公文式を、学校現場へ。

学校での公文式

生徒の多様性が広がるなか、学力や学習姿勢・意欲の格差に
悩む学校現場からの「公文式を活用したい」とのご要望を受
け、導入。その効果が実感されるようになってきています。

一人でも多くのご高齢者と
そのご家族の笑顔を増やす

学習療法センター

学習療法【認知症進行抑止・改善】

「読み書き・計算・コミュニケーション」を通じて、認知症の進
行抑止・改善を目指したプログラム。日本とアメリカの高齢
者介護施設で、ご利用者のためのプログラムとして活用され
ています。

脳の健康教室【認知症予防】

自治体・団体・法人などが主催者、地域住民が教室サポー
ターとなり、シニア世代のための脳の健康づくりを目指した
プログラム。仲間づくりや世代間交流を促進し、地域コミュ
ニティにも貢献しています。

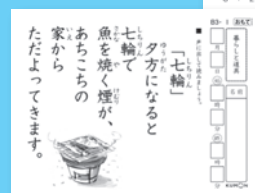
KUMONの脳トレ

KUMONの教材制作ノウハウと脳科学の知見が詰まった個
人向けのサービス。「教材」「測定」「情報」の3要素で構成さ
れ、「自宅でも！気軽に！楽しく！」をコンセプトとした50代以上
の中老年・シニア世代の脳の健康づくりをサポートするプロ
グラムです。



学習療法教材

高齢者の方が読みやすい大きさの
文字やイラスト、回想法的要素な
どが盛り込まれた学習療法専用教
材。スラスラと音読・計算すること
で脳の活性化を図ります。



高齢者

生涯 学習



暮らしの中で効果を実感できる教材

基礎・基本から小刻みに段階を踏みながら着実に
ステップアップできる教材は、日常生活の中で
生かせる書写力の養成を目的としています。

外国語学習で、より広い視野を育む。

フランス語・ドイツ語

「公文式学習法であれば、フランス語・ドイツ語であっても、
誰でもできるようになる」という考えから生まれた教材です。
初心者、経験者に関わらず、フランス語・ドイツ語に関心を
持った幼児・小学生から、大学生・社会人までが学習してい
ます。公文式算数・数学・英語・国語で高い学力を身につけ
た生徒たちの更なる能力開発にも貢献しています。

国際化が進む地域のために
日本語教育という貢献を。

日本語

外国人のための、KUMONの日本語教育。英語版・ポルト
ガル語版・中国語版の教材を活用し、出身国や年齢層も
さまざまな生徒が「自学自習」で日本語を学んでいます。
グローバルな交流が進む今、日本各地で需要が高まってい
ます。

書写の学びを通じて、人生が豊かになる
ことを実感していただきたい。

(株)公文エルアイエル

手書き文字の上達をサポートする、公文の書写教室。文字の
上達や学習過程で得られるさまざまな自分ならではの価値
を、年齢を問わず多くの人に実感いただいています。幼児から
高齢者まで世代を超えた学習者が通う教室は、互いの存在
を認め合う地域交流の場にもなっています。65歳から学べる
「シニア書写教室」、囲碁の楽しさを多くの方へ伝える「公文
囲碁ライセンス提供事業」をスタートしました。



書籍や知育玩具を通して、
子どもの可能性を引き出す。

(株)くもん出版

ドリル、カード、絵本・児童書などの出版物や知育
玩具の開発・販売を展開するくもん出版。子ども
たちの学ぶ力を引き出す出版物や教育関連商品を通
して、子どもたちの未来に貢献することを使命とし
ています。教室現場で検証を重ねたその商品は、
一般市場でも高い評価を得ています。



より多くの方々に学ぶ喜び、
成長する喜びを。

施設での公文式

公文式による児童養護施設での学習支援は、創立
間もない頃から始まりました。現在は、児童発達支
援・放課後等デイサービス、就労移行支援施設等
の施設へ導入が拡大。学習者の自己肯定感の醸成
と自立支援に活用されています。学習を通じて、基
礎学力、集中力や粘り強さなど、将来さまざまな場
面で必要となる力の向上につながっています。

誰にでも学ぶ喜び、できるうれしさを。

障害児・障害者教育

公文式は、一人ひとりがつ能力を個人別に伸ばしていく学習法であり、それは、障害のある方も変わりはありません。教材も基本的な指導も同じです。公文式の教材は、文字や数字を読むレベルから、大学の教養課程レベルまで、小さなステップで構成されているので、どの学習者にも「今できること」があります。学び取る速さには違いがあるかもしれませんが、「今できること」をくり返すことで、集中力や処理能力などが高まり、自分ができることが増えていきます。この「自分でできた!」という積み重ねが「自信」や「やる気」につながり、さらに新しいことへ向かう挑戦心も育まれていきます。公文式学習を通じて、誰もが自らの可能性を広げ、学ぶ喜び、できるうれしさを感じてほしいと願っています。



『つくしんぼ、のびた』(くもん出版刊)
各地から寄せられた指導実践・学習の軌跡をまとめた書籍。

英語を道具に世界を感じ、地球社会に貢献できる人に!

English Immersion Activities

英語で世界を感じ、地球社会に貢献できる人材を育むために。世界各国出身のリーダーとの時間を通して、子ども達が多様性への理解を深め、地球規模の視野をもつことを目指しています。



「ことばで育む親子のきずなづくり」を広めたい。

子育て応援活動

うたや読み聞かせを通じて「ことばで育む親子のきずな」を、より多くの子育て中の方々に伝えるために、KUMONは絵本情報満載の、うたや読み聞かせの記録アプリ「mite(ミーテ)」の運営を行っております。



「mite(ミーテ)」

江戸の子ども文化を通じて、現代にメッセージを。

「くもん子ども浮世絵」コレクション

KUMONは、文献だけでは知ることのできない江戸時代の子どもの生活や子育ての様子を生き生きと描いた「子ども浮世絵」をはじめ、絵巻や屏風、寺子屋で使われた教科書「往来物」や玩具など、貴重な「子ども文化研究史料」を3,000点所蔵しています。これらの史料から浮かび上がる子どもたちの学びや遊びの様子、「子宝思想」と呼ばれる子どもを大切に育てる江戸社会のあり方は、現代の教育や子どもを取り巻く環境を考える大きなヒントになります。

KUMONはこのコレクションの公開と活用が、社会における子どもへの関心を高めるとともに、子どもたちのよりよい未来づくりに資することを願っています。



「くもん子ども浮世絵ミュージアム」公開中

歌と読書に親しみ、豊かな心の成長を。

協賛活動

親と子のきずなとしての童謡を大切に歌い継いでいってほしいと願って1986年から開催されている「童謡こどもの歌コンクール」。歌を通じた子どもたちの心の成長を後押しするため、KUMONはこれらの活動をサポートしています。



「童謡こどもの歌コンクール」

グローバル人材の育成をめざした小中高生向けのTOEFL® TOEFL Primary®, TOEFL Junior®の広がり

グローバル・コミュニケーション&テストは、2011年よりTOEFL Primary®とTOEFL Junior®の普及と運営を日本国内で行っています。2つのテストは、世界基準で英語力を測る小中高生向けの英語運用能力テストです。可否ではなくCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）に連動するスコアで結果が表され、継続して運用能力の推移が把握できるため、学校・団体を中心にテストの活用が広がっています。

*toefl primary®

*toefl junior®

沿革

1954年 ●公文公が小学2年生の長男のために計算問題を
ルーブリーフに書き、自習形式の学習を開始(公文式の原型)

1955年 ●大阪府守口市に、公文式教材を使用した算数教室を開設

1958年 ●大阪数学研究会創立

1962年 ●(有)大阪数学研究会設立
●東京で第一号教室を新宿区に開設

1963年 ●東京事務局開設

1972年 ●(有)大阪数学研究会を(有)大阪公文数学研究会に
社名変更、(有)東京公文数学研究会設立

1974年 ●海外(ニューヨーク)で初めて算数教室を開設
●『公文式算数の秘密』(廣済堂出版)がベストセラーとなる

1975年 ●台湾に教室を開設

1977年 ●幼児向けドリル刊行開始

1979年 ●第一回全国公文指導者研究大会開催

1980年 ●英語教室スタート
●ブラジル サンパウロに現地法人設立
●ドイツ デュッセルドルフに現地法人設立

1981年 ●国語教室スタート
●第一回公文障害児指導研究大会開催
●(有)大阪公文数学研究会、(有)東京公文数学研究会を
それぞれ株式会社に組織変更

1982年 ●アメリカ ロサンゼルスに現地法人設立
●(株)大阪公文数学研究会と(株)東京公文数学研究会が
合併し、(株)公文数学研究会となる

1983年 ●(株)公文数学研究会より(株)公文教育研究会に社名変更
25周年

1984年 ●オーストラリア シドニーに現地法人設立
●日本語教室スタート

1985年 ●ペン習字教室スタート

1986年 ●フランス語教室・ドイツ語教室スタート

1988年 ●(株)くもん出版設立
30周年 ●香港に現地法人設立
●カナダ トロントに現地法人設立
●アメリカの公立小学校に、公文式算数が導入される

1990年 ●英語母国語教材、オーストラリアで使用開始
●イギリス ロンドンに現地法人設立

1991年 ●スペイン マドリードに現地法人設立

1993年 ●中国語母国語教材、台湾で使用開始
35周年

1994年 ●ポルトガル語母国語教材、ブラジルで使用開始

1995年 ●創始者 公文 公永眠
●シンガポールに現地法人設立
●チリ サンティアゴに現地法人設立
●メキシコ メキシコシティに現地法人設立
●中国 上海に現地法人設立

1996年 ●(株)公文エルアイエル(公文書写)設立
●南アフリカ ヨハネスブルグに現地法人設立
●フィリピン マニラに現地法人設立

1997年 ●公文 毅永眠
●マレーシア クアラルンプールにオフィスを開設

1998年 ●タイ バンコクに現地法人設立
40周年 ●アルゼンチン ブエノスアイレスに現地法人設立

2000年 ●インドネシア ジャカルタに現地法人設立
●グループ経営体制へ移行
●(株)公文公教育研究所設立

2001年 ●第一回世界リーダー研修開催
●第一回English Immersion Camp開催
●産官学による学習療法の実践研究がスタート
●新KUMONロゴ誕生

2003年 ●KUMON看板一斉架け替え
45周年

2004年 ●EFL(外国語としての英語)教材、ブラジルで使用開始
●スペイン語母国語教材、南米5カ国で使用開始
●インド ニューデリーに現地法人設立
●コロンビア ボゴタに現地法人設立

2005年 ●CFL(外国語としての中国語)教材、韓国で使用開始
●中国 広州に現地法人設立

2006年 ●ベトナム ホーチミンに現地法人設立

2008年 ●タイ語母国語教材、タイで使用開始
50周年

2010年 ●大学向け教育サービスの事業化スタート

2011年 ●TOEFL Junior®の普及・運営を開始
●中国 北京に現地法人設立

2012年 ●Baby Kumon スタート

2014年 ●公文 公生誕100年
●TOEFL Primary®の普及・運営を開始

2018年 ●マカオに現地法人設立
60周年

2023年 ●インドネシア語母国語教材、インドネシアで使用開始
●パキスタン ラホールに現地法人設立
●KUMONの脳トレ スタート

2024年 ●シニア書写教室事業・公文囲碁ライセンス提供事業 スタート

トップメッセージ

公文の理念

「われわれは個々の人間に与えられている可能性を発見し
その能力を最大限に伸ばすことにより
健全にして有能な人材の育成をはかり
地球社会に貢献する」

KUMONは1958年の創立以来、現在に至るまで68年にわたり、多くの子どもたちの学習を見守るとともに、その成長を応援してまいりました。私たちは、公文式学習法(KUMONメソッド)を通じ、一人ひとりが学力を伸ばすと同時に、自習する態度と方法を身につけることで、自分自身の可能性を開花させ、将来にわたり社会で活躍できる自立した人材の育成をめざしています。

現在、公文式は世界60を超える国と地域へ広がり、世代を越えて多くの方々に支持されています。この背景には、将来にわたって必要な力を育む学習法への共感と、各国・地域で理念を共有する指導者やパートナーの存在があります。そして、公文式教室に通う子どもたちが日々の成長を実感しながら学習に取り組んでいるのは、温かく見守り、時に励ましてくださる保護者の皆様の支えがあってこそです。この場を借りて、皆様の教育への献身と情熱に敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。今後もその信頼に応えられるよう努めてまいります。

近年では、持続可能な社会の実現に向けた国際的な取り組みが進む中、教育の重要性はますます高まっています。「持続可能な開発目標(SDGs)」に掲げられた「質の高い教育をみんなに」という課題に対し、公文式教育の実践そのものが一つの解であると考えています。また、教育に力を入れることが難しい地域においても、信頼できるパートナーとの連携を通じて、学びの機会を広げていきたいと考えています。

一方で、ICTの進展やAIの台頭などにより、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした時代だからこそ、「どのような環境においても一人ひとりの可能性を発見し伸ばす」という不易の価値を大切にしながら、私たちは挑戦を続けています。

こうした中、KUMONは中期経営方針「New Growth 2030」を掲げ、歴史を大切にしながらも、未来に向けた新たな成長と価値創造に取り組んでいます。副題『Breakthrough as One Kumon』には、世界中の社員、指導者、そしてパートナーと一丸となって新しい価値を創造し、あらゆる教育課題・社会課題の解決に向けてさまざまな壁を突破していきたいという決意を込めました。

創始者 公文公の理念を「継承」し、未来に向けて「進化」させること——それが私たちに託された使命です。「教育は百年の計」と言われるように、その成果は単に試験や学業のスコアだけで測れるものではないと考えています。自らの力と可能性を信じ、困難においても立ち向かい、めざす夢や目標に向かって進んでいく——そんな次代を担う人材を育て、社会に貢献してまいります。

今後とも、KUMONに対するますますのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 公文教育研究会
代表取締役社長

田中 三教



New Growth 2030 –Breakthrough as One Kumon–



KUMONが目指す長期ビジョン

2008年のKUMON創立50周年に、これからの50年に向けて「長期ビジョン」を定め、実現に向けた「2つの挑戦」を全社で確認し、歩みを進めてきました。

長期ビジョン

世界のあらゆる国と地域で、KUMONメソッドで学ぶ機会を提供し、学習者が夢や目標に向かって、自分から学習している状態を目指す。

2つの挑戦

- 広がり：世界のあらゆる地域や世代の一人でも多くの人に学習機会を提供する。
- 深まり：誰もがその能力を最大限に伸ばすことができる学習法を追求する。

2026-2030グループ中期経営方針

『New Growth 2030 – Breakthrough as One Kumon –』

変化の激しい時代だからこそ、私たちは「New Growth 2030」という中期経営方針を掲げ、KUMONのこれまでの歴史を大切にしながらも、未来に向けたさらなる成長を目指してまいります。副題『Breakthrough as One Kumon』には、世界中の社員、指導者、そしてパートナーと一丸となって新しい価値を創造し、あらゆる教育課題・社会課題の解決に向けてさまざまな壁を突破していきたいという決意を込めています。

2030年のありたい姿

『New Growth 2030』で目指すものは、2030年のKUMONグループの「ありたい姿」の実現です。

公文式の実践を通して

- 一人ひとりにあった、学ぶ楽しさと成長実感を届けてくれる存在
- 地域に根差した形で学びを軸として社会課題の解決に貢献する存在として、家庭/顧客から、教育機関から、そして社会から認知されている

KUMONが取り組む3つの挑戦

2030年の「ありたい姿」に向けて、3つの挑戦を柱として進んでいきます。

1 公文式のさらなる価値向上への挑戦

一人ひとりに対して学習効果をより高められるように、これまで培ってきたものを継承・進化しながら、公文式学習とサービスの価値を向上させ続けます。

公文式においては、公文式指導者や指導に携わってくださる方々の「人の存在」が何より大切であり、デジタルを活かしながらもよりヒューマンタッチなKUMONとして、一人ひとりに成長実感をこれまで以上に届けていきます。



2 One Companyで地域に根付いた展開への挑戦

KUMONグループには、公文式教室を中心とし、様々な施設や学校への公文式導入事業や、通信学習、生涯学習としての書写事業、書籍や知育玩具など出版事業、認知症の維持改善・予防に向けた学習療法事業など、さまざまな事業・サービスがあります。

KUMONグループがもつ様々なサービスを、多様な世代や地域のニーズに応じた最適なKUMONの学びとして届けられるようにしていきます。



3 学びを軸とした社会課題解決への挑戦

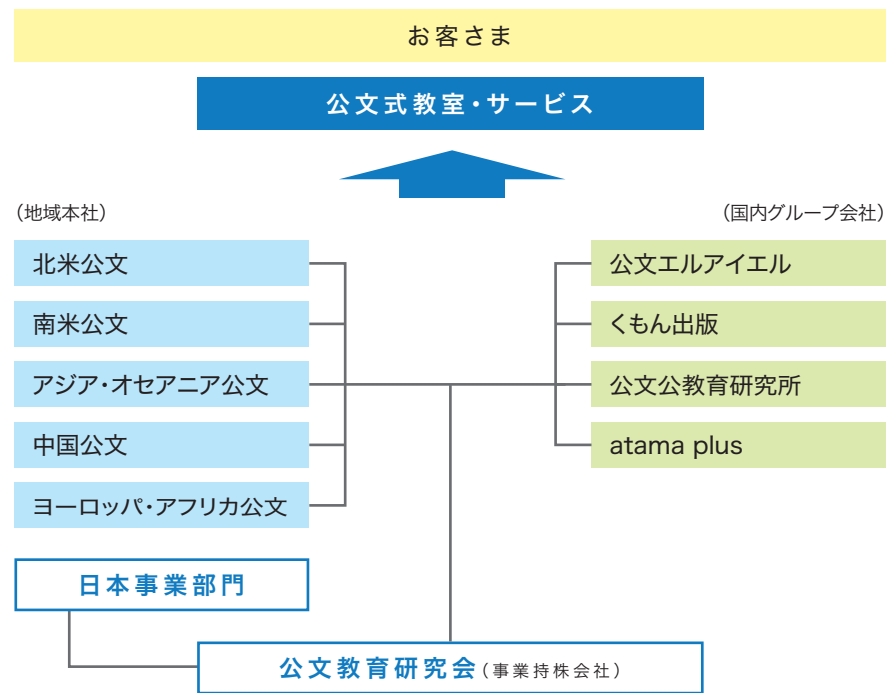
「教育を通じて社会に貢献する」という考えのもと、多くの施設・団体・財団、さらには行政・自治体の皆さまと連携・協働し、国や地域を問わず様々な課題を抱える方々に学習機会を届けてきました。

多様化する社会において、個人や社会が抱える課題により学ぶ機会を得にくい方々に向けて、より多くのパートナーとの連携・協働を広げながら公文式学習を届けていきます。そして、社会課題の解決にこれまで以上に貢献していきます。



これからもKUMONは一人ひとりの未来の成長の物語を紡いでいきます。

KUMONグループ組織図(略図)



株式会社 公文教育研究会

代表取締役社長： 田中 三教

所在地： 大阪／〒532-8511
大阪府大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 公文教育会館
東京／〒108-0074
東京都港区高輪4丁目10番18号 京急第1ビル12階

創立： 1958年7月(昭和33年)

設立： 1962年8月(昭和37年)

資本金： 44億18百万円(2026年3月決算)

連結売上高： 967億60百万円(2026年3月決算)

連結経常利益： 191億62百万円(2026年3月決算)

拠点数： 国内48カ所、海外65カ所(2026年3月現在)

従業員： 3,607人(KUMONグループ全体)(2026年3月現在)

URL： <https://www.kumon.ne.jp>



公文教育会館

■教育事業関連データ (2026年3月現在)

<国内>	<海外>	<展開国数>
学習者数：131万	学習者数：223万	世界61の国と地域(日本含む)
教室数：1万4,500教室	教室数：8,700教室	
教室指導者数：1万2,900人	教室指導者数：8,400人	

※学習者数は全教科合計学習者数

地域本社

●北米公文

社名：Kumon North America, Inc.
所在地：301 Route 17 North, 12th floor,
Rutherford, NJ 07070 U.S.A.
代表取締役社長：中村 祐介
URL：<https://www.kumon.com>

●アジア・オセアニア公文

社名：Kumon Asia & Oceania Pte. Ltd.
所在地：8 Cross Street,
#26-04/07, Manulife Tower,
Singapore 048424
代表取締役社長：荒木 航太
URL：<https://kao.kumonglobal.com>

●ヨーロッパ・アフリカ公文

社名：Kumon Europe & Africa Ltd.
所在地：4th Floor West, Ealing Cross
85 Uxbridge Road, Ealing
London, W5 5TH U.K.
代表取締役社長：田邊 稔
URL：<https://www.kumon.co.uk>

●南米公文

社名：Kumon América do Sul
Instituto de Educação Ltda.
所在地：Rua Tomás Carvalhal, 686,
Paraíso, CEP 04006-002,
São Paulo, SP, Brasil
代表取締役社長：中澤 学
URL：<https://www.kumon.com.br>

●中国公文

社名：Kumon China Co., Ltd.
所在地：Room 1501, 15/F,
Soundwill Plaza II Midtown,
1-29 Tang Lung Street,
Causeway Bay, Hong Kong
代表取締役社長：大輪 晋吾
URL：<https://kumon.com.hk/>

国内グループ会社・会社概要

(株)くもん出版

1980年に公文教育研究会の出版部門として発足し、1988年に独立。ドリル、カード、絵本・児童書などの出版物や知育玩具の開発・販売を通して、子どもたちの成長をバックアップしている。

(株)公文エルアイエル

1985年に公文教育研究会の新規事業部門として発足し、1996年独立。生涯学習を事業テーマに多くの人が「書写」を通じて学ぶ喜びを知り、心豊かな人生を過ごせるよう支援している。幼児から高齢者まで、世代を超えた幅広い年代の支持を得ている。新たにシニア世代対象の「シニア書写教室」、囲碁の楽しさを伝える「公文囲碁ライセンス提供事業」をスタート。

(株)公文公教育研究所

公文式の創始者・公文公の教育思想を継承・発展させることを目的に、1995年に部署として発足、2000年に独立。世界各国に広がる公文式の教材・指導法を正しく継承させることを使命とする。教育情報の調査・研究なども手がけ、公文式教育の価値を、KUMONグループ全体で共有するための中心的役割を担っている。

atama plus株式会社

2026年7月にKUMONグループに参画。テクノロジーを活用した学びのあり方の進化に取り組んでいる。教育を一人ひとりに最適化するAI教材「atama+」を塾・予備校に提供するとともに、「進学個別atama+塾」「atama+ オンライン塾」を運営。大学向けのプログラムや従業員教育プログラムも提供している。

■所在地:東京都品川区東五反田2丁目10番2号
東五反田スクエア11F
■設立:1988年2月(昭和63年)
■資本金:1億円
■代表取締役社長:泉田 義則
■URL:<https://www.kumonshuppan.com/>



■所在地:大阪市淀川区西中島5丁目6番6号
公文教育会館
■設立:1996年9月(平成8年)
■資本金:5,000万円
■代表取締役社長:津田 美衣子
■URL:<https://www.kumon.ne.jp/lil/>



■所在地:大阪市淀川区西中島5丁目6番6号
公文教育会館
■設立:2000年10月(平成12年)
■資本金:5,000万円
■代表取締役社長:紙西 英利
■URL:<https://www.kumon.ne.jp/toru/>



創始者 公文公が設立した、学校法人公文学園

のびてゆく幼稚園

■開園:1982年4月
■所在地:大阪府高槻市黄金の里1-3-1



公文国際学園

■開校:1993年4月(中等部)、1996年4月(高等部)
■所在地:神奈川県横浜市戸塚区小雀町777



スイス公文学園高等部

Kumon Leysin Academy of Switzerland
■開校:1990年5月
■所在地:Route de Versmont 6, CH-1854 Leysin, Switzerland



私たちには「夢」があります。

教育を通じて世界平和に貢献することです。

私たちは、個人別教育による人材の育成を通じて、

その夢の実現に向かってまいります。

「Mission」と「Vision」、そしてそれらを実践するための行動指針となる「Value」。私たちはこの3つを共有することで、地球社会の一員として、子どもたちの成長と幸せに貢献していきます。

Mission

公文の理念

われわれは

個々の人間に与えられている可能性を発見し

その能力を最大限に伸ばすことにより

健全にして有能な人材の育成をはかり

地球社会に貢献する

Vision

世界のあらゆる国と地域で、

KUMONメソッドで学ぶ機会を提供し、

学習者が夢や目標に向かって

自分から学習している状態を目指す



THINKING FACE。それは、教室で学び、考え、成長する子どもたちの顔であり、同時に、子どもたちのことを考え、成長し続けるKUMONの先生、社員の顔でもあります。「どうしたらこの子を伸ばしてあげられるか」KUMONに関わるすべての人は、真剣に教育について考え、子どもたちに学び、ともに成長したいと願い、実践にうつしています。KUMONブルーは、知性、誠実さ、そして世界につながる大空の色。世界が一つに結ばれ、子どもたちの未来が大きく広がるように、そして、教育について世界中の人がさらに真剣に考えるようになるという願いも託しています。

Value

THE KUMON WAY

わたしたちが大切にしているもの

わたしたちが一番大切にしているもの、それは「子どもたち一人ひとり」です。

「すべての公文式学習がその子の成長と将来に向け必ず役に立つ学習経験であること」

「ひとりでも多くの子どもたちに公文式で学ぶ機会を提供すること」

わたしたちは、この二つを

常に、心の真ん中に置いてすべての活動に臨みます。

それは公文式が存在し発展する唯一の「理由」であり子どもたちへの「責任」でもあると思います。

もし、道の途中で迷ったり意見が分かれても

「本当にこれが子どもたちのためになるのだろうか」

必ずそう自分に問いかけ、互いに進むべき方向を確認し合いながら

もっとこの教育法の価値を高め

ひとりでも多くの子どもたちに公文式で学んでもらうために

全力で取り組みます。

次に大切にしているもの、それは「志を同じくし共に歩む人たち」です。

わたしたちは、

公文式教室の先生方をはじめ

「子どもたちを大切に想い、共に教育を通じて社会貢献に携わっていただける人たち」

そのすべての人に対して最大の敬意をはらいます。

そして心からの感謝と親しみを持ち、

「全力の支援」と「一体となった活動」を

大切にします。

次に大切にしているもの、それは「すべての社員」です。

わたしたちはすべての社員が安心できる生活を保証され、適切な処遇を受けながら使命感とやりがいを持っていきいきと仕事に取り組み、日々成長していけるような風土と環境作りに努力することを大切にします。

次に大切にしているもの、それは「地域社会との関わり」です。

わたしたちは日々生活し活動する地域社会に感謝し

よき「企業市民」として

自然環境や資源の保護あるいは地域教育や文化の向上など

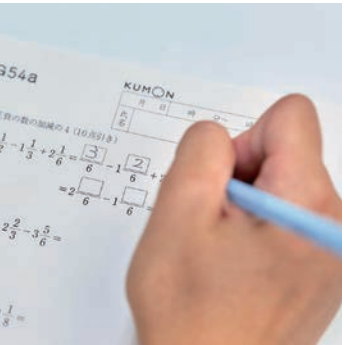
より良い地域社会を創りあげるための、様々な活動に積極的に参加し

この地球社会全体への義務と責任を果たしていくことを

大切にします。

そして最後に、わたしたちは、以下の三つを心に刻み、どんなときも大切にして行動します。

- 1) 自らの言動に対して「これは公正かつ道義にかなったものであるか」を常に問いかけ、社会人として正々堂々と胸を張れる人間であることを誓います。
- 2) 教育に携わる者の「誇り」と「信念」を持ち、常に「素直に喜び感動できる」人間であるよう努力します。
- 3) 常に「謙虚な姿勢」を持ち、昨日よりは今日、今日よりは明日と、「日々成長し続ける」人間であるよう努力します。



Lined writing area on the left side of the page.

Lined writing area on the right side of the page.

公文教育研究会

KUMON
会社案内動画

